

専門部会の進捗状況

R4年 11月 28日

部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
代表団体	公益社団法人 松山法人会	
代表者	部会長： 瀧上 悟	
R4年度 現在の進捗状況 (部会としての動き)	日 付	内 容
	4月	○働きやすい職場づくり推進優良企業BANKの新規登録に向け、「仕事と生活の両立応援企業：約600事業所」「ひめボス宣言事業所：約900事業所」のうち、昨年度更新企業、上位認証移行企業、新規登録企業の取組調査（担当者へのヒアリング）
	5月	
	6月	○会員企業への「働きやすい職場づくり推進優良企業BANK」登録案内の送付
	10月25日	○MMC（*1）への協力依頼と実行委員会の結成と実行委員会の実施 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会への協力依頼
11月17日	第1回 大学就職支援担当者・教員と企業担当者との勉強会&交流会 勉強会：次世代の採用の在り方と現状の県内採用事情 講師：合同会社 EIS 西村 友祐 氏 交流会：参加大学5校（人数5名）、参加事業所8事業所（人数11名） 第2回 大学就職支援担当者・教員と企業担当者との勉強会&交流会 勉強会：次世代の採用の在り方と現状の県内採用事情 講師：合同会社 EIS 西村 友祐 氏 交流会：参加大学4校（人数5名）、参加事業所9事業所（人数17名）	
R4年度 今後の事業計画 (案の段階でも可)	日付（時期）	内容（概要）
12月以降	○「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」への登録案内	
円卓会議への	（*1）MMC事業：H27より継続実施している女性活躍事業（松山法人会） 松山市に事業所を置く企業の経営者チーム（まどんなサポートマネージャークラブ）	

共有事項

と松山市内の企業に勤める女性チーム（まどんなメンタークラブ）があり、働きやすい企業風土を醸成するための勉強会や交流事業を実施している。

専門部会の進捗状況

R4年12月1日

部会名	変える勇気&変わる勇気プロジェクト
代表団体	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
代表者	部会長：堀田 真奈
	内 容
R4年度	<p>1. Z世代との働き方開拓</p> <p>「学生と共に考える、かいしゃ通信簿プロジェクト」</p> <p>学生の声を取り入れて、働き方改革の指標づくり（通信簿）を行う。</p> <p><体制></p> <p>事務局：ワークライフ・コラボ（&サイボウズ松山オフィス）</p> <p>学生サポート：合同会社 Cheer for 野村和匡さん</p>
現在の進捗状況 (部会としての動き)	<p>学生：愛媛大学・松山大学の学生がスタッフとして参加、</p> <p>特に愛媛大学で ELS /EFL の学生が中心として活動を進めております。</p> <p>https://els.opar.ehime-u.ac.jp/project/</p> <p>愛媛大学教育支援機構 村田先生・仲道先生もサポート。</p> <p>1 運営 学生 12 名 + 社会人 5 名 / 企業 4 社の段取りが完了 (10 月 7 日)</p> <p>キックオフ 10 月 11 日 ⇨ 運営チームオンライン顔合わせ (10 月 26 日)</p> <p>②愛ワーク寺尾さんによるインタビューの仕方や企業の見方勉強会 (11 月 1 日)</p>

⇒学生2名+社会人1名の4チーム編成でそれぞれ企業を担当

- ・富士通コミュニケーションサービス(株) ・(株)イープレス
- ・宇和島自動車運送(株) ・サイボウズ(株)



(11/30 宇和島自動車運送さんにて)

⑥指標完成予定 12月末

⑦お披露目交流会(企業4社+@) 1月後半

※単発で学生を集めても、「企業へ訪問、インタビュー、指標作り」までモチベーションを保つ等は難しく、学生の主体活動として実施する必要性があり、実施内容や体制を見直し、仕切り直した。

※学生は情報共有ツール「Slack(スラック)」を活用して、社会人4名がサポートしながら日々情報交換やリーダー会など実施し、モチベーションを保っており「ジブンゴト」として、働くことや職場環境などを考えている。

2. ワクワクサポーター活動

再度認定企業として表彰予定。(12月14日 岡田印刷訪問)

<過去、認定企業 NG となった背景>

認定企業の条件について確認

1、トップが働き方改革を理解し、実行をコミットしている

2、スタッフ一人一人が自らの理想を言葉にできている

→面談は、年2回(賞与査定のためのみ)、理想を聞く機会は無

3、問題を発見し、解決するスキルを身につけている

→参加メンバーは、研修後、振り返りの議論はしている。(アクションはない)

→しかし、やりっぱなし

→ムーブメントになっていない。

4、風通しのよい風土/ICT環境がある

部署内：営業部良い、経営管理部、製造部に難あり

部署間：部署ごとに独立している

ICT：社内メール

10/24(月) 中小企業家同友会 ハイブリッド例会にて

「私は今日まで生きてみました。ときには誰かに助けられて。なんくるないさ」

岡田印刷(株) 桑波田健 代表取締役社長

発表メモ

●会社危機の理由⇒ 放漫経営、信頼関係の崩壊(前経営陣)

●働き方改革に取り組む目的

・採用が難しくなっている(社員の高齢化)

	<p>勉強会、学生同士の交流、取材、お披露目会（11～2月）</p> <p>2 7月・9月・11月・1月・3月 持ち回り勉強会実施予定</p> <p>上記進捗通り</p>
<p>円卓会議への 共有事項</p>	<p>かいしゃ通信簿プロジェクトを単年度に終わらずに、学生のフィールドワークとして継続していきたい。</p>

専門部会の進捗状況

R4年 12月 5日

部会名	人育ち応援部会（転居女性等の市内のワークシェアリング・マッチング事業）	
代表団体	愛媛県中小企業家同友会	
代表者	部会長：桑波田 健	
R4年度 現在の進捗状況 (部会としての動き)	日 付	内 容
	11月18日	<p>(1) 転居女性のワークシェアリング・アウトソーシング及び市場調査家具製作会社から、システムキッチンの自社開発に関する相談。委託先である(株)エルパティオが有する主婦層のコミュニティを活用し、50名を対象としたアンケートを開始。家具製作会社の紹介をしながら、女性の声を集めている。協力者にはエルパティオが運営する「ママハウス」(子育て中の女性のサポート)に利用できるチケットを提供する。</p> <p>(2) 障がい者・児の職場体験マッチング事業</p>
9月12日	障がい者・児の企業実習・職場体験・見学等の受け入れ企業のマップサイト「お仕事ナビ」が稼働。中小企業家同友会の地域共生委員会を中心に、企業への登録呼び掛けに着手。現在、6社が登録。	
R4年度 今後の事業計画 (案の段階でも可)	日付(時期)	内容(概要)
	12月9日 (予定)	<p>(1) 転居女性のワークシェアリング・アウトソーシング及び市場調査アンケート回収終了。12月中旬までに結果を集約して、家具製作会社に報告する。</p> <p>(2) 障がい者・児の職場体験マッチング事業</p>
年度内	松山市内20社、県内30社の協力企業の登録を目指す。	
円卓会議への 共有事項	<p>(1) 転居女性のワークシェアリング・アウトソーシング及び市場調査新規企業ではないため、当事業の対象には挙げていないが、一昨年と昨年に対応した2社(いずれも食品製造)から引き続き依頼があり、エルパティオの事業としてフォローをしている。</p>	

専門部会の進捗状況

R4年12月5日

部会名	松山DX勉強会	
代表団体	愛媛県中小企業家同友会	
代表者	部会長：桑波田 健	
R4年度 現在の進捗状況 (部会としての動き)	日付	内容
	6月22日	全6講(定員30名)が終了。 第1回：基礎編「DXとは?必要性と進め方」DXの本質は、自社の"事業の定義"を書き換えること!…参加者32名
	7月26日	第2回：基礎編「DXの一步目 社内のデジタル化」はじめよう、現場でできるデジタル化…参加者29名
	8月24日	第3回：基礎編「DXの一步目 コミュニケーション改革」…参加者23名
	9月29日	第4回：応用編「業務効率DX」…参加者14名
	10月26日	第5回：応用編「事業改革の事例・進め方」…参加者16名
	11月29日	第6回：地域交通に学ぶ「地に足の着いた」DX～誰ひとり取り残さない～…参加者25名
R4年度 今後の事業計画 (案の段階でも可)	日付(時期)	内容(概要)
		運営を担当した愛媛デジタルソリューション協会と愛媛県中小企業家同友会とで振り返りを行なう。 次年度の事業について企画立案。
円卓会議への 共有事項	チラシ作成や会場手配、当日の運営は愛媛デジタルソリューション協会に委託。 愛媛同友会は周知活動を担っている。会員向けの案内の他、会外へも政策委員会のメンバーを中心に告知している。	